

「中央新幹線小委員会答申（案）に関するパブリックコメント」 の募集結果について

平成 23 年 5 月
国土交通省鉄道局幹線鉄道課

国土交通省では、平成 23 年 4 月 22 日（金）から平成 23 年 5 月 5 日（木）まで、「中央新幹線小委員会答申（案）に関するパブリックコメント」の募集を行いました。その結果、本件に関して、888 件のご意見が寄せられました。

お寄せ頂いた御意見の概要を別紙のとおりまとめましたので公表いたします。

皆様の御協力に深く御礼申し上げますとともに、今後とも国土交通行政の推進に御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 実施方法

- ① 集期間：平成 23 年 4 月 22 日（金）～平成 23 年 5 月 5 日（木）
- ② 周知方法：電子政府の総合窓口（e-Gov）
- ③ 意見提出方法：電子メール、FAX 及び郵送

2. 意見数

提出意見 888 件

3. お問い合わせ先

国土交通省鉄道局幹線鉄道課 意見募集担当

電話番号 03-5253-8532

(別紙)

「中央新幹線小委員会答申(案)に関するパブリックコメント」の募集結果について

平成 23 年 4 月 22 日(金)から平成 23 年 5 月 5 日(木)に実施した「中央新幹線小委員会答申(案)に関するパブリックコメント」については、888 件の御意見をいただきました。

地域別の意見数及び主要な意見は、以下の通りです。

(件)

地域別の 意見数	中央新幹線の沿線都府県										そ の 他	合 計
	東京	神 奈 川	山 梨	長 野	静岡	岐 阜	愛 知	三 重	奈良	大阪		
法人又は団体	9	1	1	24	16	2	5	2	5	12	2	79
個人	55	54	37	304	57	28	27	12	5	66	164	809
合計	64	55	38	328	73	30	32	14	10	78	166	888

【中央新幹線の整備に関する意見】

- ①中央新幹線の早期に整備すべき。
- ②中央新幹線整備に反対、計画を中止又は再検討すべき。

【走行方式に関する意見】

- ③在来型新幹線方式を採択すべき。
- ④超電導リニア方式を採択すべき。

【ルートに関する意見】

- ⑤南アルプスルートを採択を支持。
- ⑥伊那谷ルートの再検討を求める。

【営業主体、建設主体に関する意見】

- ⑦営業主体、建設主体はＪＲ東海が適当。
- ⑧鉄道・運輸機構が建設主体として参加すべき。

【付帯意見に関する意見】

- ⑨大阪まで早期に開業すべき。
- ⑩国際拠点空港への結節性を強化すべき。
- ⑪駅的位置や費用負担等の調整について、国の(より積極的な)関与を求める。
- ⑫途中駅の建設費用の地元負担等を軽減すべき。
- ⑬駅への広域的なアクセス環境の整備を求める。
- ⑭在来線、道路交通、航空交通などの利便性の向上が図れるよう、トータルデザインされた国の具体策を早急に国民に示すよう明記すべき。

【その他】

- ⑮東海道新幹線沿線地域の利便性を向上させるべき。
- ⑯今般改正された環境影響評価法の内容を踏まえて手続を行うべき。
- ⑰電力消費量や電磁波の人体への影響に関するデータを公表すべき。
- ⑱今後、エネルギー需給に関する検討を国が関与して行うべき。